

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年4月19日(2018.4.19)

【公開番号】特開2017-170224(P2017-170224A)

【公開日】平成29年9月28日(2017.9.28)

【年通号数】公開・登録公報2017-037

【出願番号】特願2017-132302(P2017-132302)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月5日(2018.3.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数種類の演出情報を表示可能な表示手段と、
所定条件の成立に基づいて予め決められている当選条件が成立するか否かを判定する当
落判定手段と、
該当落判定手段の判定結果に基づいて前記表示手段を表示制御する表示制御手段と、
前記表示手段に所定の演出情報が表示される場合に前記表示手段よりも前面側に設けら
れる透明板に光を照射可能な光源手段と、
該光源手段を制御して、前記透明板に照射された光により、当該透明板に特定画像を視
認可能にあらわし得る光源制御手段と、
前記当落判定手段の判定結果に基づいて所定の態様で発光し得る前記表示手段の外に設
けられた演出発光手段と、
該演出発光手段の発光を制御する発光制御手段と、を備え、
前記発光制御手段は、前記光源手段の発光時に前記透明板にあらわれる前記特定画像の
視認性が高まり得るように前記演出発光手段を消光又は減光させる調光手段を有し、
前記透明板に光を照射する前記光源手段は複数あり、該複数ある光源手段から照射され
る光は所定の照射角をもって前記透明板に照射されることで前記特定画像を視認可能にあら
わし得ることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

このように演出を工夫することで興趣を維持しているものの、まだまだ演出の工夫が施
された遊技機を望む声も多く聞こえる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

本発明は、上記した事情に鑑みなされたもので、その目的とするところは、演出の工夫が施された遊技機を提供することにある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

複数種類の演出情報を表示可能な表示手段と、所定条件の成立に基づいて予め決められている当選条件が成立するか否かを判定する当落判定手段と、該当落判定手段の判定結果に基づいて前記表示手段を表示制御する表示制御手段と、前記表示手段に所定の演出情報が表示される場合に前記表示手段よりも前面側に設けられる透明板に光を照射可能な光源手段と、該光源手段を制御して、前記透明板に照射された光により、当該透明板に特定画像を視認可能にあらわし得る光源制御手段と、前記当落判定手段の判定結果に基づいて所定の態様で発光し得る前記表示手段の外に設けられた演出発光手段と、該演出発光手段の発光を制御する発光制御手段と、を備え、前記発光制御手段は、前記光源手段の発光時に前記透明板にあらわれる前記特定画像の視認性が高まり得るように前記演出発光手段を消光又は減光させる調光手段を有し、前記透明板に光を照射する前記光源手段は複数あり、該複数ある光源手段から照射される光は所定の照射角をもって前記透明板に照射されることで前記特定画像を視認可能にあらわし得ることを特徴とする遊技機。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

本発明の遊技機においては、演出の工夫が施された遊技機を提供することができる。